

Arcserve Backup 18.0 新機能ガイド

多様なビジネスシーンで活用できるバックアップのデファクト・スタンダード

Arcserve Backup 18.0 の主な新機能

Arcserve Backup 18.0 は、Windows Server 2019 や VMware vSphere 6.7 & 6.7 Update1 などの最新プラットフォームへの対応に加えて、セキュリティの強化や次期リリースの Arcserve® UDP との連携の強化が追加されています。

最新のプラットフォームに対応

最新の OS やプラットフォームに対応することで、お客様のデータとシステムを確実に保護します。サポートするプラットフォームは、以下の通りです：

- Windows Server 2019
- VMware vSphere 6.7 & 6.7 Update1
- Microsoft SQL Server 2017
- Microsoft Exchange Server 2019

セキュリティ脆弱性への対応を強化 (TLS 1.2 対応)

セキュリティを強化した TLS1.2 を使用している SQL Server や vSphere 環境をサポートすることで、安全な通信と情報盗難のリスクを低減できるようになりました。

Arcserve UDP との連携機能強化 (RPS の増分バックアップ)

Arcserve UDP の次期バージョンである v7 との連携強化を予定しています。この機能強化により、Arcserve UDP の復旧ポイントのテープ保管をフルイメージから増分のサイズで実施できるようになり、テープ使用量の削減と処理時間の短縮を実現できます。

新機能の詳細については、[製品ページ](#)、または[カタログセンター](#)でご確認ください。

